



hida

広 報

ひだ

町 木



第77号

肥田町

まちおこし推進協議会

H28.4.1発行



### ご挨拶

平成二十八年度

肥田町自治会長

森田 喜久雄

春風爽やかに吹き、桜の花も咲き誇る季節となりました。町民の皆様には益々ご健勝にてお過ごしのこととお喜び申し上げます。

この度、前副自治会長の体調不良により、急遽、自治会長の重責をお預かりすることとなりました。何分のピンチヒッターということですが、いささかの準備もなく、心もとない限りですが、町民の皆様のご指導とご鞭撻をよろしくお願い申し上げます。

さて、昨今の社会経済情勢をみますと、中東諸国はもちろんヨーロッパや北朝鮮など世情不安定さを増し、経済も年初来波乱含みの様相を呈しています。これもそれも、それぞれの思想信条の違いや社会的基盤である生活の不安定さが大きな背景にあるのではないかと、そんな風には感じられてなりません。

日本では、急激な少子高齢化の進行が危惧されて久しいですが、ようやく対策らしい対策が講じられるようになってまいりました。肥田町の人口は、かつて一〇〇戸、四〇〇人を超えていたかと思いますが、今や九十三戸、三六九人にまで減少しています。年齢的に見ましても、六十歳以上の人口が一三七人（三七・七％）であるのに対し、二十歳未満の人口は六七人に過ぎず、今後のさらなる

人口減少は火を見るよりも明らかとなつていきます。

中でも、人口減少による農村の空洞化は、老人人口の増加と相まって地域福祉のあり方を根本的に問い直してまいりますし、これに加え、昼間、夜間の人口相違は予想される東南海沖地震、あるいは異常気象による洪水対策など災害対策のあり方について警鐘を鳴らしています。また、空地空家の増加は、地域の活力を大きく低下させ、防犯面や環境面で様々な問題を顕在化させていますし、青年人口の減少は伝統文化の維持や地域の風習に大きな問いかけを行つていきます。

こうしたことから、自治会におきましては、全町民アンケートをもとに作成された「まちづくり委員会」の当面の対応策報告書にある「守るべきは守り、改めるべきは改める」という考え方のもと、一歩でも二歩でも前進できればと願っています。

未来への橋渡しである私たちが、時には苦渋の決断をし、責任ある対応をす

ることこそ、将来にわたって誰もが住みよく安心できる町を創造するために不可欠なことであり、一層の建設的なご意見と実践にあたってのご理解・ご協力をお願い申し上げます。

終わりに臨み、肥田町民の皆様がこれまで以上に互いに心の絆を強くし、心豊かな農村社会の維持発展のため、一層の協力と協働の精神を大切に助け合い、益々ご多幸にお過ごしただくことを心から祈念し、ご挨拶とさせていただきます。



宇曾川堤

平成28年度

## ご入学おめでとう



松山 真愛さん

お父さん 應和さん お母さん 蘭さん

今大事にしているものは、保育園で誕生会にもらった本です。

小学校に入学したら、勉強と友だちをたくさん作りたいです。

大きくなったら、先生になりたいです。

## 一声運動 ~人づくりはあいさつから~

ピカピカの1年生がスタートします。まずは大人の人々から気軽にすすんで町の子ども達へ「おはよう」「おかえり」など声をかけてあげてください。気持ちのつながりがお互いにうれしいですよ。



### 平成28年度自治会など役員

- 自治会長
- 副自治会長
- 会計部長
- 文教部長
- 福祉部長
- 環境部長
- 体育部長
- 改良組合長
- 副改良組合長
- 改良組合会計
- 町顧問
- 福寿会会長
- まちづくり委員会委員長
- ボランティアサークル会長
- 環境ボランティア肥田の会
- 自警団長
- 女性会会長
- 中学校委員
- 子ども会会長
- 民生委員
- ファーム肥田

- 森田喜久雄
- 宮川喜弘
- 青木洋
- 筒井隆智
- 伊関健司
- 鶴野忠
- 藤野喜昌
- 松村庄之丞
- 清水豊
- 藤野信敏
- 成宮一郎
- 薩摩正平
- 薩摩四郎
- 松枝義人
- 薩摩四郎
- 成宮裕斗
- 森野啓子
- 藤野信敏
- 藤野裕子
- 福原妙子
- 成宮一郎

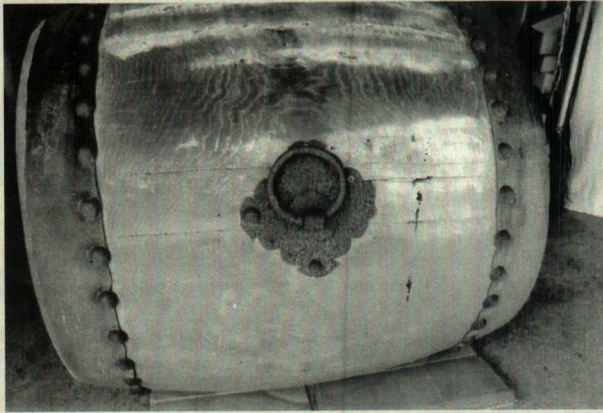


写真で見る 町の活動特集

# 304年前の太鼓だと判明

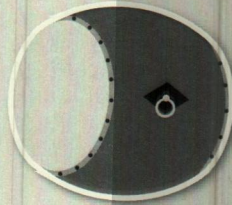
## 法光寺

## 福原 快隆

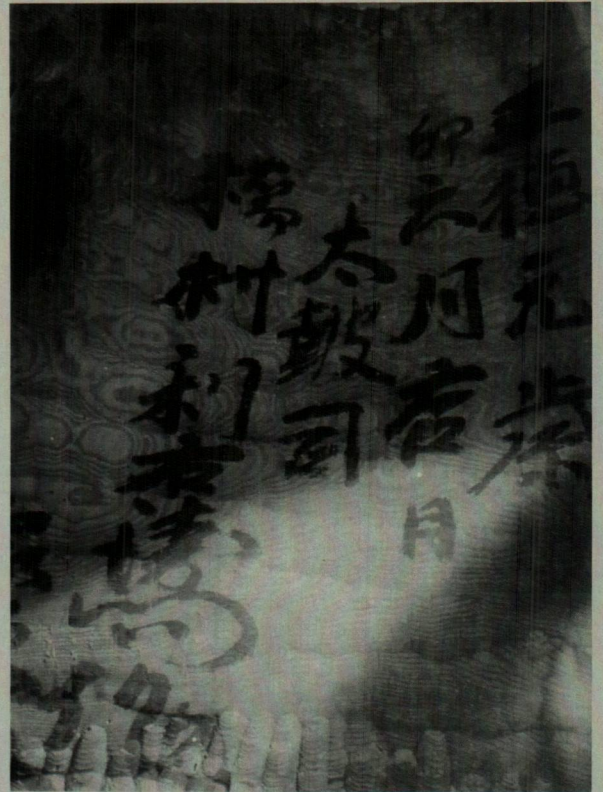


法光寺本堂の外縁につるされ、両側の皮が破れている太鼓がありました。ご縁があって、修理するか、新しくするか思案しておりましたところ、山川原の杉本太鼓商さんに依頼して、状況を見ていただきました。

すると、太鼓の胴裏に、墨で書かれた文字があり、それが太鼓が作られた年や修理された年が書かれていることが判明しました。



- 1. 制作 正徳元年 1711年 卯 六月吉日  
太鼓司 橋村利右衛門 作
- 2. 修理 明和八年 1771年 六月吉日  
江州愛智郡長塚村
- 3. 修理 天明五年 1785年 八月 はりかえ  
江州坂田郡門根村 たいこ屋 谷清
- 4. 修理 文久元年 1861年 七月  
江州岩根邑 本家 太鼓屋



これらの記述が残されていたことによって、法光寺の建立(本堂は、明治12年建築開始明治21年完成)以前の登町にあった薩摩の善照寺説教場にすでに置かれていたものと考えられます。歴史ある宝物の太鼓は、修理していただきました。その太鼓は新しい太鼓堂に吊るし、行事で使わせていただきます。どうぞ、肥田町民の方もお参りいただきご覧ください。

## 3月6日 福寿会総会開催



最初に福寿会新会長 薩摩正平氏 副会長 松山 滋氏を選出、次に本年度の新入会員の紹介がありました。

**新会員** 薩摩隆司 辻野久和  
成宮克美 元持正行

総会は、能登川地区のあすなろ会の皆さんの熟達された舞踊に会場がピーンと締まる素晴らしい雰囲気でした。公民館のお花は、いつも有志の方々に生けていただいています。

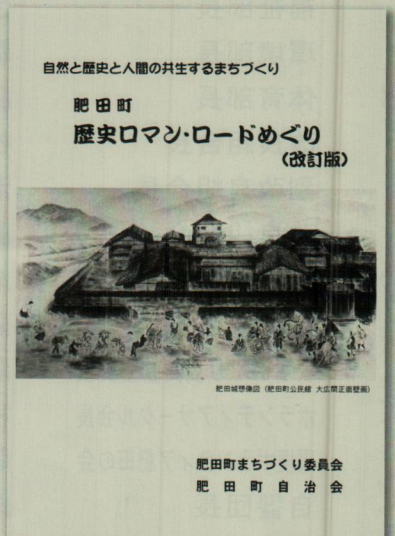


### 一口メモ

## 肥田町 歴史ロマン・ロードめぐり 改訂版のご利用を

肥田町の歴史文化に関心をお持ちの方が毎年多く訪ねて来られています。

史跡や町並みに感動を述べていただいております。ガイドの冊子も内容の充実を図り、ご案内の準備をしています。是非お出かけ下さい。



彦根市商工会議所の「彦根の城と城館」にも肥田城を紹介いただいています。

お問い合わせ ☎0749-43-4510 肥田町歴史資料館